

流産手術の説明と同意書

受領者	受領日
	/

手術方法

基本的にMVA(手動真空吸引法)で行います。専用吸引器に手動で真空状態を作りカニューレに接続し吸引する方法で、安全かつ衛生的であることからWHOでも推奨されています。静脈麻酔を使用します。

合併症・危険性

子宮穿孔・出血 | 子宮内操作に伴い子宮壁を損傷することがあります。程度により他施設で入院や手術が必要な場合があります。麻酔薬の合併症 | 麻酔薬使用による低血圧、一過性無呼吸や麻酔深度不足による術中覚醒、麻酔覚醒後に嘔気、胃部不快感、歩行困難が出現することがあります。

絨毛遺残 | 妊娠組織が残ることがあります。出血が続く場合や血中HCGが下がらない場合再手術の可能性がります。その他 | 薬品アレルギーや術後感染など予期せぬ副作用が出現することがあります。

手術の費用とその後の検査は以下の通りです。希望する項目にチェックを入れてください。

希望に <input checked="" type="checkbox"/>	生涯初の流産		2回目以降の流産	
	<input type="checkbox"/> 絨毛染色体検査は希望しない 保険	<input type="checkbox"/> 絨毛染色体検査を希望する 自費のみ	<input type="checkbox"/> 絨毛染色体検査は希望しない 保険	<input type="checkbox"/> 絨毛染色体検査を希望する 保険
①流産絨毛染色体検査	—	約93,500円税込	—	約8,000円
②流産手術	約16,000円	約55,000円税込	約16,000円	約16,000円
③流産組織病理検査	約3,000円	約11,000円税込	約3,000円	約3,000円
合計	約19,000円	約159,500円税込	約19,000円	約27,000円

- ▶① 流産絨毛染色体検査とは、流産の原因が、胎児側の染色体異常かどうかを調べる検査です。
・胎児の染色体数の異常であれば、流産として一般的な原因です。反復する場合はPGT-Aを検討します。
・胎児に染色体の異常がなければ、母体・子宮側の検査を幅広く実施し、過去の結果を再評価します。
・胎児の染色体に構造異常がある場合は、ご夫婦ともに染色体検査をします。夫婦のどちらかに染色体の構造異常がある場合は、流産を反復する可能性が高いため(出産できる可能性もあります)遺伝専門医とPGT-SRを検討します。
(保険は国内検査センター、自費は米国の検査センターしか利用できないため、自費と保険では料金が大きく異なります。)
- ③流産組織病理検査とは、胞状奇胎などの異常妊娠の有無を確認するための検査です。

注意事項

- 不明点は医師または看護師に確認してください。お伝えする内容・記載された内容は一般的なもので個人差があります。
安全に手術を受けていただくために、アレルギーや既往歴、服用中のお薬など事前に申告してください。申告がない場合当院では一切の責任を負いかねます。
手術当日は麻酔の影響で眠気やふらつき等の可能性があるため車の運転等危険を伴う機械の操作は行わないでください。
手術中・手術後に医師または医療従事者が必要と判断する対応がある場合これに基づいた医療行為は当院の判断にて行います。また当院での管理が難しいと判断した際には総合病院等に搬送し、同病院において加療することがあります。
治療の経過を確認する為に当院よりお電話させていただくことがございます。また患者様の安全が確認できない場合、ご家族・緊急連絡先としてお書き頂いた電話番号に確認させていただくことがございます。

説明医師

私は上記の説明を理解しました。よって手術を受けることに同意します。

医療法人社団暁慶会はらメディカルクリニック院長宮崎薫殿

年 月 日

妻氏名(自署) _____ 夫氏名(自署) _____
診察券番号()

【緊急時連絡先】氏名 _____ 携帯電話番号 _____
続柄()